

も少くマイカーのための費用が実収入の20～30%にも及んでいます。生活が苦しくなるのは当然ともいえましょう。

第六番目として、電車・バスを利用しての出退勤の際の歩行で、マイカー利用にありがちな脚力の不足をある程度は防ぐことができます。

以上、いくつかの電車・バス利用のメリットをのべてみましたが、市電・市バス全体では、現在でも1日8万人位の方が更にご利用できる余裕があります。経常収支の赤字は現在3億円ありますが、さき程申し上げましたマイカー通勤者5万人の方が、月4回程電車・バスを利用することにより黒字とすることができます。また、5万人のうちの10%の方、すなわち5000人の方がマイカーをやめて市電・市バスをご利用していただいても同じように黒字とすることができます。これは、マイカー通勤者10人のうち1人だけが毎日利用するというので、決して不可能なことではないと存じます。黒字になれば、6～7億の資金が更に市全体で投資できることにもつながるわけで、一交通局としてばかりでなく函館市全体にとってもこのことは非常に意義のあることでもありますので、市民各位のより一層の電車・バスのご利用を心からお願いする次第であります。

◎出席報告

会 員 数	66名	出 席 率	函 館 北 (5/13)	100.00%
出 席	41名		函 館 東 (4/28)	92.04%
欠 席	25名		函 館 (4/30)	98.33%
他クラブ出席	25名		函館五稜郭 (5/1)	100.00%
出席合計	66名		亀 田 (4/27)	75.00%
出席除外者	0名			

次回例会日 6月3日

プログラム “早朝例会”
8時 函館国際ホテル



第251地区

函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

TAKE TIME TO SERVE
時間を捧げよう 奉仕のために
(R.I. 会長 ロルフ J. クレーリッヒ)

第851回例会

1980～1981 第47号 1981・6・3



椎谷龍彦会員

例会日 毎週水曜日 12:30～13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話 (0138) 23-3870

本日のプログラム

“早朝例会” 8時 函館国際ホテル

第850回例会記録

- ◎司 会 角谷 隆一 会長
- ◎齊 唱 手に手つないで
- ◎ビジター 札幌西R.C. 佐々 保雄君 函館R.C. 相馬 哲平君他6名
五稜郭R.C. 松浦 百秋君 亀田R.C. 梶山 一弥君
- ◎ゲ ス ト 函館日産自動車(株)代表取締役 小川 清太氏

●幹事報告 松橋 博副幹事

皆様のお手元に配付いたしておりますが、6月第1例会、及び6月第3例会は早朝例会とクラブアッセンブリーを兼ねた夜間例会に変更になっております。申込用紙に御記入の上、御提出下さい。多数の御参加をお願い申し上げます。

5月28日の函館R.C.は、夜間例会でございます。ビジター料は5,000円です。

●親睦活動委員会 加進 裕会員

ニコニコBOX投入のお知らせ

高橋 会員……ニコニコBOXに協力します。

古川谷会員……ニコニコBOXに協力します。

中川 会員……中古車情報6月号発売しました。

●卓 話 “最近の自動車業界について、”

函館日産自動車㈱代表取締役 小川 清太氏

先般来マスコミで対米輸出の問題が大変クローズアップされて、一時は毎日、新聞等でとりあげられました。最終的には、日本が自主規制をする事になり168万台で政治結着という事になった訳です。これは昨年の輸出実績の14万台減です。

何故にこの様に、マスコミ、或いは日本経済全体の問題として、とりあげられたのかと言う点では、それなりの背景、内外に与える影響が大きかったものが、あるのではなからうかと感じております。

先般、日本経済新聞に掲げていたのですが、この14万台減と言う問題が、日本経済に与える影響は、金額にして、約1,200億円、部品、鋼材、タイヤ、ガラス、等の関係業界を総合しますと、マイナス効果が約4,800億円であり、日本のG・N・Pの0.1ポイントの引下げに影響するとの試算がなされております。以上の点からも、内外に及ぼす影響が大であると言えます。

自動車産業は、富士山の様型をしており、頂上にメーカーがあるとすると、それに関連する産業が、裾野の様に非常に巾広くひろがっています。

特徴としては、総合産業である事です。色々な産業が関連されております。又日本の就業人口の10人に1人が自動車産業に関連していると、よく言われております。その中でも、特にメーカー、或いは資材関係が25%、販売関係が20%、貨物・タクシー関係の42%、石油関係が14%が関連しております。

又、日本経済の基幹産業である事です。機械工業の30%、全製造業の10%をしめており、自動車の販売、ガソリンの販売等を含めると全小売業の18%をしめております。これはデパートの売上げが14~15%ですので、デパートの売上げ以上のウエイトをしめておると言えます。

第三の特徴は、輸出産業であると言えます。現在は、日本の石油購入代の約半分を自動車の輸出が稼いでおります。それ故14万台減となれば、日本の国際収支も悪くなる事にもつながるのではと考えます。輸出先としては、米国、カナダを含めた北米大陸で50%弱、ヨーロッパ21%、中近東・アフリカが14%、東南アジア10%、中南米が6%、太平洋が5%となっております。以上の点からも北米大陸のウエイトが非常に大きい事がわかります。

第四の特徴としては、運輸経済の中で人・物を運ぶにしても、現在では、自動車主流となっております。貨物運送では約90%、人員の輸送では約60%位が自動車にたよっているとと言えます。従って車の普及状況も、乗用車1台当り、全国で5.1人に1台、北海道の場合は5.0人に1台、函館の場合は5.8人に1台となっております。又保有状況を見てみると、全国で約3,800万台、北海道の場合は約5%ですので180万台であり、函館の場合は0.4%ですので17万台位だと思います。一方自動車の免許所有者を見ます。全国で4,100万人、北海道で160万人函館で、16~17万人です。女性は、全国で約30%、北海道で約20%位で、北海道の場合は女性の比率が低いようです。

日本は、自動車の保有台数は世界で2番であると言われておりますが、乗用車の普及率だけを見ますと、米国、西独、フランス、英国、イタリア、日本と言う様な順番になっており、普及率の点からは先進国としては遅れていると言えます。又運転免許所有者の総人口に対する比率をみますと、米国の場合は65%位で、日本の場合は34%です。この様な点から、日本の場合は免許所有者がまだ比率的には低いと言えますので、まだ自動車の普及する余地が残っていると思います。最近では女性ドライバーが多くなっていますので、女性用として、パワーステアリングとか、ルームミラーを化粧が出来る様に改良して発売しております。今後は益々この様な傾向が強くなると考えます。

現在国内には11社の自動車メーカーがあります。これもグループ化されておまして、日産グループ、トヨタグループ、独自経営、外資提携グループの4グループに分けられます。世界的には今後5強ないしは7強にグループ化される傾向にあります。例えば、日産、トヨタ、GM、フォード、フォルクスワーゲン、ルノー、シトロエンと言う様なグループが形成される様な見方があります。又日本米国、欧州の各メーカー間の業務提携が最近行われておりますが、今後可成り煮詰めなければならない問題が多々あり、流動的であるので仲々現実化するのには時間がかかるものと思われれます。

最近の自動車の売行きを見ますと、55年上期で対前年比伸長率は、全国で約93%、函館地区では90%、下期では全国で90%、函館地区は86%です。今年の4月では、全国では108%、函館地区で101%であり、函館地区では全国に比較して、

かなり落込みが大きい数字となって表われております。全国的に西高東低の景気であると言われておりますが、特に東北・北海道が悪い中でも函館の落込みが大きいと言えます。

又、最近の傾向として、大衆車の売れ行きが良く、1600cc以上の車の売れ行きが落込んでいると言えます。これは、燃費、取得に関する価格の面が影響しているものと感じられます。北海道では、従来は全国的にみても、割合中型以上の車の売れ行きが良かったのですが、最近では小型車に移行しており、燃費、維持等によるものであろうと思われ、今後、ディーラーの課題ではなかろうかと考えております。

今年の見通しとしては、軽自動車を除いて、メーカーでは、上期で101%、下期に110%ですので、通年で104~105%位は対前年比で伸びるのではなかろうかと予想されております。特に56年度後半にはディーラーも期待しておる次第です。

今後は、いかにして、低燃費の車を造るかが、世界的な課題であり、当然のごとく小型化、軽量化し、エレクトロニクス、空気抵抗の少ない車を製造する事が、今後の傾向となるものと思われ、又、今後は小型化にともない、FF化が進み、主流になる傾向が世界的に進むと考えられております。

●出席報告

会 員 数	67名	出 席 率	函 館 北 (5/20)	98.51%
出 席	39名		函 館 東 (5/5)	祝日休会
欠 席	28名		函 館 (5/7)	98.31%
他クラブ出席	27名		函館五稜郭 (5/8)	100.00%
出席合計	66名		亀 田 (5/4)	祝日休会
出席除外者	0名			

次回例会日 6 月 10 日

プログラム “公共職業安定所の組織について”
函館公共職業安定所所長 千葉 昭夫氏



第251地区

函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

TAKE TIME TO SERVE
時間を捧げよう 奉仕のために
(R.I. 会長 ロルフ J. クレーリッヒ)

第 852 回 例 会

1980~1981 第48号 1981・6・10



椎谷 龍彦 会員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話 (0138) 23-3870

本日のプログラム
“公共職業安定所の組織について”
函館公共職業安定所所長 千葉 昭夫氏

第 851 回 例 会 記 録

●司 会 角谷 隆一 会長 ●齊 唱 君が代、奉仕の理想